

大阪外国語・ホテル・エアライン専門学校 募集・教育方針

募集方針			
アドミッション・ポリシー（求める人物像）			
本学園の学園理念「世界観を持ち、おもいやりのある人材を育む」に基づく「教育目標」及び「到達目標」を理解し、それを達成するために学生生活を送ることを前提に、以下の入学生の受け入れ方針を定めます。			
【求める学生像】 ・観光業界・国際文化・外国語に関心を持ち、世界を舞台にグローバル人材として活躍したい人 ・思いやりとおもてなしの心を持ち、世界の人々に感動を与える仕事につきたい人		【本校入学前に身につけてほしい学力・能力】 ・ホテル業界、エアライン業界への興味 ・外国語、海外文化への興味 ・入学後の学修を円滑に進めるための、国語や英語、地理歴史、数学等で学ぶ基礎的な知識 ・挨拶などの基本的なコミュニケーション	
教育方針			
教育目標	到達目標	カリキュラムポリシー	ディプロマ・ポリシー
<p>グローバルな視点を持ち、職業現場でホスピタリティを実践し、人と社会に貢献できる人材を育成する。</p> <p>・「ホスピタリティ(おもてなしや思いやり)」の心を育む。</p> <p>・プロ意識を醸成。</p> <p>・目指す職業の知識技能の習得。</p> <p>「カリキュラムの体系化によるキャリア教育」</p> <p>①生き生き働く職業人モデル（教員・先輩など）との接触機会を増やすことによる動機付け教育の実施。</p> <p>②現場体験で経験機会を増やすことによる体感学習の実施。</p> <p>③社会に出て役立つ技能を身に付けるための実務学習と資格の取得。</p>	<p>ホスピタリティ(おもてなしや思いやりの心)の概念と、職業現場におけるホスピタリティの重要性を理解し、観光業界で「おもてなしのプロフェッショナル」として、お客様に感動・笑顔・安心を提供できるビジネスマナーを身に付けた職業人材の育成を目標として掲げる。この目標を踏まえ、それぞれ以下に示す教育活動を展開する。</p> <p>【ホテル科】</p> <p>1.「汎用的能力の向上」 ホスピタリティマインドを教育の根幹に据え、コミュニケーション能力や課題発見・解決能力等、業界で必要とされる基礎的な能力を向上させる。</p> <p>2.「専門的知識及び技能の習得」 専門的知識及び技能を理解し、自律的かつ自立的に知識・技能を継続して向上させる精神を育成する。</p> <p>3.「思考力・想像力の向上」 専門的知識及び技能を活用し、様々なお客様の潜在ニーズを先読みできる想像力、思考力を身に付ける。</p> <p>【エアライン科】</p> <p>1.「思考力と人間力の向上」 専門的知識と物事を深く洞察できる思考力を持ち、ホスピタリティマインドと共に主体的に実践できる能力を身に付ける。</p> <p>2.「英語運用力の向上」 航空業界で求められる実践的な英語力を修得し、国際社会で活躍する力を身に付ける。</p> <p>3.「グローバルな視点と国際感覚」 国際的な視野と国際感覚を持ち、多様な文化や価値観を理解し、相互関係を構築するためのコミュニケーション能力を身に付ける。</p> <p>【外国語学科（英語科、韓国語科）】</p> <p>1「外国語運用力の向上」 国際社会で求められる専門的な言語表現を習得し、実社会においてアウトプットできる力を身に付ける。</p> <p>2.「グローバルな視点と国際感覚」 多様な文化や価値観を理解し、相互関係を構築するための国際的な視野と国際感覚を身に付ける。</p> <p>3.「基礎的・汎用的能力の向上」 ホスピタリティマインドを教育の根幹に据え、コミュニケーション能力、課題発見・解決能力を養い、社会で必要とされる基礎的・汎用的能力を向上させる。</p> <p>【取得目標資格】 全学科：サービス介助士、みんなの外国語検定 ホテル科：ホテルビジネス実務検定B2級、マナープロトコル検定、TOEIC エアライン科：TOEIC、手話検定4級、サービス介助士 英語科：TOEICスコア1年次500点以上、2年次700点以上 韓国語科：韓国語能力検定（TOPIK）4級以上</p>	<p>国内外の観光ホスピタリティ業界で活躍できる職業人の育成と、専門的且つ実践的な知識・技能の修得、ホスピタリティマインドの醸成を目的として、下記の教育課程編成及び実施に関する方針に基づいてカリキュラムを編成する。</p> <p>1. ホテル、エアライン、外国語に関わる専門的な知識、教養、技能、マインドを段階的且つ体系的に幅広く修得することを目的として、専門科目を実施し、各業界で必要とされる実践的知識を身に付ける。</p> <p>2. 業界出身者による実践教育や、業界との繋がりを活かした座(富)学連携教育を実施することにより、業界の持続的発展に寄与できる職業人の育成を目指す。</p> <p>3. 他を思いやるホスピタリティマインドを育み、多様な価値観を受容できる力を育成するホスピタリティ教育科目を実施する。</p> <p>4. グローバル社会で必要とされる英語運用能力の基礎を身に付け、多文化理解を深めるため、外国語教養科目を実施する。</p> <p>5. 卒業後のキャリア形成を目的とし、本校で培われた力を社会で発揮するための業界研究及び就職対策科目を実施する。キャリアビジョンの明確化、業界人事担当者や卒業生による講話、学内会社説明会を行い、業界・企業理解を深め、志望企業就職決定へ導く教育を実施する。</p> <p>6. 他者と柔軟に協働し、自律的に観光に関する課題・問題を発見し、解決する思考力の醸成を目的として、プロジェクト学習科目を実施する。</p> <p>7. 社会人として適切なビジネスマナーを身に付けるとともに、社会で求められる広範な知識と多角的に問題を解決する能力の基盤を育成するため、教養科目を実施する。</p> <p>8. 多様化する観光業界の変化に適応し、持続的発展に貢献できる柔軟性、接応対応能力を修得するため、コミュニケーション演習科目を実施する。</p> <p>【ホテル科】 ・ホテル業界で必要とされる思考力・想像力の向上を目的とし、宿泊・料飲実務を包括的に学び、吸収した専門知識技能を活かすフロントオペレーションやレストランプロデュースなどの実務科目を実施する。 ・多様化する業界ニーズに対応できる汎用的能力向上を目的とし、ホスピタリティ科目、産学連携科目など『ICT×アクティブラーニング』を導入したプロジェクト型教育を実施する。</p> <p>【エアライン科】 ・航空業界で必要とされるグローバルな視点と国際感覚の育成、語学力、専門知識・技能の修得のため、CA・GS実務、World Geographyなどの実務科目を実施。ICT(1人1台のiPadを導入)を活用し、英語4技能（リスニング、リーディング、ライティング、スピーキング）の向上を目的とした英語科目を実施する。 ・多様化するお客様へ対応できる力と、率先して行動するホスピタリティマインドを育成するため、接遇・マナー科目、国際教養科目を実施する。</p> <p>【英語科】 ・語学教育、企業インターンシップ、海外留学、国際交流体験を通じて、社会における多様性を理解し、グローバル化に対応できる柔軟性、課題解決力を養う。 ・多様な文化や価値観を理解し、相互関係を構築するための、英語コミュニケーション科目、国際文化・教養科目を実施する。</p> <p>【韓国語科】 ・実践的かつ社会的関係の維持に必要な言語機能の遂行を目指し、韓国語の基礎的内容から応用・発展的な内容まで体系的に学べる科目を設置。また、韓国語を用いたディスカッション・プレゼンテーションを実施し、社会人として必要なコミュニケーション能力を養う。 ・グローバル社会において必要とされる幅広い教養を身に付け、多様な価値観の認識と適切な異文化理解を深めるために、「日韓文化研究」「韓国伝統芸術」などの科目をを配置する。</p> <p>【授業形態・評価・教育方法】 1. 課題解決能力、協働性の涵養を図り、主体的・対話的な深い学びの機会を充実させるため、ICTの活用及びアクティブラーニングを取り入れた教授法を積極的に導入する。 2. 各科目の到達目標の達成に向けて、講義、実技演習、協働活動を組み合わせた授業を実施する。職業体験を通して社会性の育成を図るため、課外活動、企業実習を実施する。 3. 授業シラバスで提示された到達目標に対する成果を公正に測るため、評価方法及び評価基準を明確にし、知識・技能を評価する。</p>	<p>本学園では、大学の定める修業年限以上在学し、専門科目、共通科目を所定の履修方法に従って総単位数の80%以上を習得し、下記の能力・資質を備えた者に対し卒業を認定。</p> <p>①通常授業 ②企業実習</p> <p>①・②の総時間数の80%以上を受講した者に対し卒業を認定。</p> <p>ホスピタリティマインド</p> <p>相手の立場に立って考え行動する「ホスピタリティマインド」を持っている。</p> <p>「自己理解・他者理解」、「キャリアデザイン」自らが気づきを得ることができる。</p> <p>知識・理解</p> <p>業界・企業の特徴を理解することができる。</p> <p>専門業界に必要な知識及び能力を得ることができる。</p> <p>働くうえでの基本といえる、ビジネスマナーを身に付けている。</p> <p>専門性・表現</p> <p>専門知識に基づいた、クリエイティブな思考力を持っている。</p> <p>好奇心を持ち、自らの専門を探究することができる。</p> <p>自分の考えをしっかりと相手に伝える表現力を持っている。</p> <p>視野を広げて、向上心を持ち続けることができる。</p>